

AQUA JOURNAL

318
vol.

AQUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine

APRIL.2022
100YEN

[特集]
Let's learn about moss.

知りたい、モスのこと

[巻頭グラビア]
NATURE IN THE GLASS

ある森の広がり

ADA 30th ANNIVERSARY PRODUCTS
ADA 30周年記念プロダクト

NA PRODUCTS STORY #11
「CUBE GARDEN」

すみだ水族館レポート #08

ネイチャーコラム 第17回
「Pioneer RED」

NATURE IN THE GLASS

Daichi Araki

莫斯で表現した
樹木の印象と
そこに広がる林床の風景

【ある森の広がり】森は遷移段階に応じて、優勢となる樹種が変化していく。本水景では高木が優勢となっている森と、低木や草が広がる林床をイメージした。プランチウッドの枝を縦に配置し表面の多くをモスで覆うことで森林を構成する優勢種の林相を疑似的につくりあけた。木々が際立つように下草ではなく化粧砂を敷き、視覚効果を狙っている。また中景にはモスのほかにシダや背の高くなりにくい有茎草を配植し、低木層に息づく林床植物の様子を表現した。高く伸長する種類の水草を背景に植えたことで森の広がりが連想される。



©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日 2021年4月21日(ADA)
制作 荒木 大智(レイアウト制作)
水槽 キューブガーデン W120×D50×H50(cm)
照明 ソーラー RGB ×2(1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルター ES-1200(バイオリオG)
素材 プランチウッド、山水石
底床 アクアサイルアマゾニア Ver.2、パワーサンド、アドバンスL、
ハウター100、クリアスリー、トルマリンBC、ラプラタサンド

C O₂ バレングラス・ビートル 400、CO₂ビートルカウンターで1秒に5滴(タワー使用)
A I R リリィパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤 ブライティK、グリーンブライティ・ミネラル、グリーンブライティ・アイアン、
グリーンブライティ・ニトロ
換水 1週間に1度 1/3
水質 水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L

水草 BIO アラグアイア・レッドシャープリーフ・ハイグロ *Hygrophila sp. 'Araguaya Sharp Leaf'*
BIO スタウロギネ・レベンス *Stauroyne repens*
BIO オーストラリアン・ドワーフヒドロコティレ *Hydrocotyle tripartita*
BIO ギニアハイグロ *Hygrophila odora*
BIO エレオカリス・ビビバラ *Eleocharis vivipara*
モスバッジ ウィローモス *Taxiphyllum barbieri*

魚種 カメルーンハネゴケ *Plagiochila sp.*
タイワンファン *Hymenophleium obscurum*
レッドテトラ *Hypseobrycon amandae*
サイアミーズ・フライングフォックス *Crossocheilus oblongus*
オトシンクルス *Otocinclus sp.*
ヤマトヌマエビ *Caridina multidentata*

中景の植え分けで 森と林床の植生表現を狙う

高木に光りが遮られやすい林床には耐陰性のある低木陰樹やツタ、シダなどが見られる。このような低木のイメージとして横に広がり赤く細い印象となるアラグアイア・レッドシャープリーフアイグロや、縦に伸びるタイワンファンを中景に植栽し表現。また石や流木を覆っているモスの上へほふくするオーストラリアン・ドワーフヒドロコティレを配植することでツタ類の植生を表している。背景に植えたエレオカリス・ビビバラは濃淡がつくよう間引く管理を行つたことで薄いカーテンのように見え、奥行きある森の広がりが演出されている。



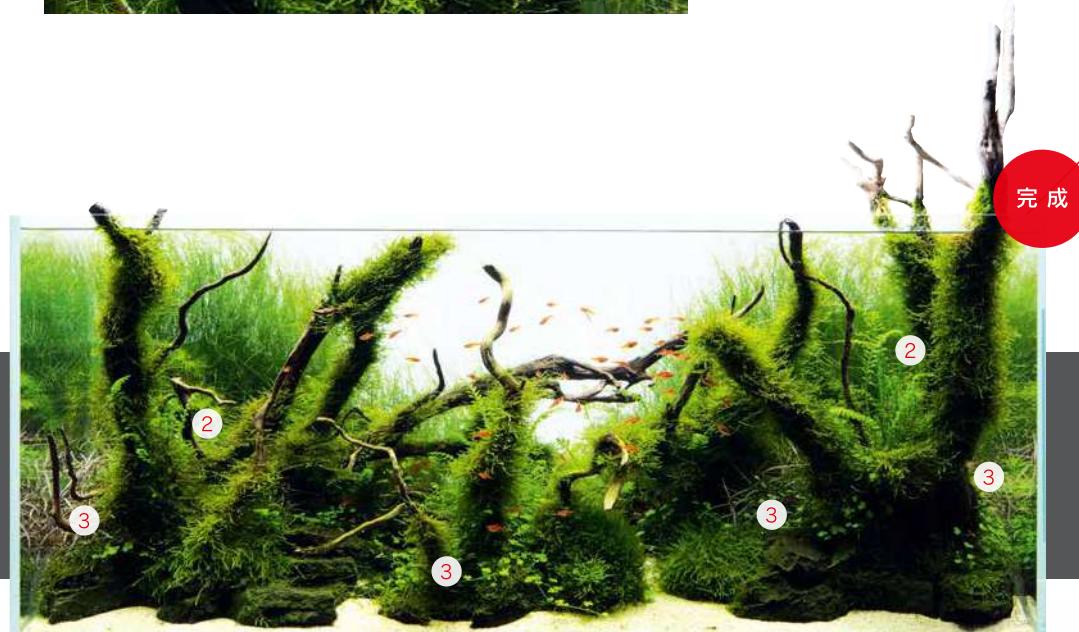
骨格となるプランチウッドは土留めも兼ねた山水石でしっかりと固定。



植栽直後のレイアウト／2020年7月3日 撮影



2 シダの葉形で単調さを回避
植生イメージに変化を持たせるため、形が特徴的なタイワンファンを使用。樹間に縦に伸びる地生シダを表現。



2021年4月21日 撮影 ©AQUA DESIGN AMANO

1
化粧砂で入り組みをつくる
大小3つのブロックに分けるように化粧砂を敷き、森の入り組みと遠近感を表現。中央の小さいブロックはソイルは使用せず、石と着生植物のみで景観をつくった。



化粧砂の調整にはサンドフラッターを使用。
今回のように入り組んだ箇所の多い構図には特に必須となるレイアウトツール。



3
林床の何気ない自然感を表現
色味と形を変えた背の高くならない有茎草と、流木の根元のオーストラリアン・ドワーフヒドロコティレによりレイアウトの自然感が増す。





ビーコックモス
Taxiphyllum sp. 'Peacock Moss'



スパイキーモス
Taxiphyllum sp. 'Spiky Moss'

[特集]
Let's learn about moss.

知りたい、 モスのこと

ネイチャーアクアリウムにおいて名脇役であるモス。決してスターではないものの原生や清涼といった要素をさりげなくレイアウトに醸し出します。また、生い茂る姿を目になると、時間の経過を感じる方も多いでしょう。今回は、スタイルに合わせたモスの製品紹介やレイアウト時に少しだけ気になるところの検証、モスの配植ポイントなどをご紹介します。最後にはモス図鑑もありますので、これを機にお気に入りのモスを見つけてみてはいかがでしょうか？



クリスマスモス
Vesicularia montagnei



フレイムモス
Taxiphyllum sp. 'Flame Moss'

【 ADAのモスの生体製品 】

ADAのモス製品は、あらゆる用途に合わせて3つの形態でラインナップしています。自分のスタイルでは、どの形態のモス製品を選ぶとよいのか、参考にしてみてください。

**LINEUP.1
「 佗び草マット 」**

着生植物用に開発されたマットにモスが活着している製品です。システムテラやシステムバルダ、水草ミストウォールなどにそのまま、もしくは着生植物をつけ足して使用できます。また、3形態の中でモスの種類のラインナップが最も多く、水上葉への展開がしやすいこともポイント。

テラベースなどでは、佗び草マットからシート状にきれいにはがしたモスをテララインで固定しましょう。

**LINEUP.2
「 モスバッグ 」**

ネイチャーアクアリウムに使いやすいウイローモスをパックにした製品です。十分な量が入っており、健康な水中葉はレイアウトの即戦力になること間違いなし。小さなアクアリウムでは、少しほぐして入れるだけで魚の隠れ家やメダカの産卵床として活用もできます。

1パックをLサイズのホーンウッド3本に巻いてみました。これだけ巻ければ、一般的な60cm水槽のレイアウトでも十分。

**LINEUP.3
「 BIOみずくさの森 」**

高品質な組織培養で育成されたクリーンなモスを使うことができる製品です。ピンセットで植栽しやすく、害虫やカビの発生のリスクも少ないため、湿度を保ちやすいガラスポット MARUやSHIZUKUを使用した小型バルダリウムに最適です。

このような小型バルダリウムではうれしい使いきりサイズ。個性的なモスもラインナップされています。

【細かすぎるモス巻きの検証】

ウイローモスはとても丈夫なため、巻き方が原因で失敗することはほとんどありません。しかしながら、本当にモスに適した巻き方はどうなのかを生真面目に検証してみました。

検証:1 「刻むのか?」

刻まずとも育つウイローモス。刻むことでのメリットはあるのか。



モスバッグを開封し、約10mmで一方向に刻んでゆく。刻む前、長いものでは100mmを超えるものがあるが、これをして長くてもおおよそ30mm以下にそろう。今回は比較観察しやすいように、同形の木質入り樹脂棒にモスコットンで約10mm間隔に巻いた。

【結果予想】

あえて刻んだモスを巻くことで初期から細かく生えそろい、ボリューム感がUPするのではないかだろうか。

18日後

結果

「刻まない」



巻きつけ後に飛び出したモスはカットしたものの、新芽との生長点がそろわざバラつきがある。

「刻む」



ほとんどが刻まれたモスのため、突出して生長するものは少なく刻まない場合よりもややそろって見える。(微妙)

刻んだモスは、細やかに生えそろい見た目が○

- ・巻くときに伸ばしやすくムラができるにくくなる。
- ・生長点と植えた新芽との生長のバラつきが小さい。
- ・レイアウト初期からモスの見た目が整う。

今回使用した レイアウトツール



モスコットン

流木や石などへの巻きつけ用の糸。モスに似た濃緑色で分解されたのちに消えてなくなる。



プロシザース・ショート ストレートタイプ

モスバッグなどのまとまった量のウイローモスを刻みやすい。モスコットンは先端部でよく切れる。

検証:2 「巻き幅は?」

きれいに仕上げるためのモスの巻き幅は何mmなのか。



検証1と同形質の棒にモスコットンで5mm、10mm、15mmの3つの間隔で巻いた。予め刻んだモスバッグのウイローモスを用いて、巻いた後は飛び出したものを丁寧にカットしている。巻き幅15mmでは少々不安感が残った。

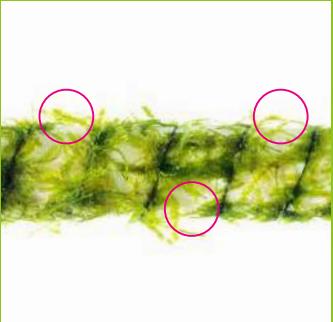
【結果予想】

巻き幅の間隔が狭いほうが、棒との接点が多く活着を促すことにつながるのではないかだろうか。

18日後

結果

「15mm幅」



モスが抜け落ちてしまつており、ムラができてしまつている。

「10mm幅」



モスが接点との間で浮き上がりてしまつている部分がある。

「5mm幅」



より均一にモスがびたりと棒に接しているのがわかる。

刻んだウイローモスの場合は5mm間隔が○

- ・巻くときに接点間で浮かずに、ぴったりと生長しやすい。
- ・抜け落ちにくく、長いモスも飛び出しにくい。
- ・モスのより整った活着が期待できる。

※2つの「細かすぎる検証」はあくまで参考程度に。

【モスの配植ポイント】

モスの配植位置については、最初は誰しも悩むものです。ここでは、大きく4つのポイントに分けて解説をしていきますので、ぜひ参考にしてみてください。



Point.1 「不自然な切り口はモスで隠す」

あえて枝先を出すことも一つの表現ですが、アクアリウム用の流木はものによって枝先が不自然な切り口や折れ跡になっているものがあります。そのような箇所は、モスを巻きつけて隠しましょう。また、荒々しい枝先に柔らかな印象を与える効果もあります。



AJ vol.299掲載 水槽サイズ:W180×D60×H60 (cm)



Point.2 「陰生水草が植栽できない影に」

構図素材がつくる影には、基本的にクリプトコリネやアヌビアスなどを植栽することでレイアウトの暗いトーンを緩和することができます。同じように明るい色の化粧砂を敷いた際にできる比較的のコントラストが大きくなる箇所では、小石に巻きつけたモスを置くことでトーンアップすることができます。



Point.4 「素材と水草のシームレス化」

構図素材に添わせるボルビティスやアヌビアスなどの活着性水草とモスと一緒に配植すると、迫力ある素材と水草とを違和感なくつなげることができます。管理では、モスの範囲が広がり活着性水草を隠さないように注意しましょう。



● ウイヨーモス (ハイゴケ科)
Taxiphyllum barbieri

ネイチャーアクアリウムでは定番のウイヨーモス。同名で呼ばれるものは複数種あるが、本種はキャラハゴケ (*Taxiphyllum*) 属に分類される。おなじみモスコットンで巻きつけよう。



● スパイキーモス (ハイゴケ科)
Taxiphyllum sp. 'Spiky Moss'

ウイヨーモスと同じキャラハゴケ属で、生長が早く活着力も強い。また、よく枝分かれして重なり合うように葉を展開するため、厚くなるのが特徴。先端形状により全体的にツンツンとした印象になる。



● ピーコックモス (ハイゴケ科)
Taxiphyllum sp. 'Peacock Moss'

ライトグリーンの葉が特徴。多く使用しても景観が暗くなりすぎないので、明るい有茎草の群生と良くマッチする。水生ゴケの中でも健強種で、生長すると南米モス同様、三角形の茎葉体を形成する。



● クリスマスマス (ハイゴケ科)
Vesicularia monteguei

同名で流通しているものは数あるが、本種の特徴は鋭角な二等辺三角形を形成する点。乾燥に比較的強いので、テラテープを使用して水中とオープンエリアをつなぐモスとしてもおすすめ。



● ウィーピングモス (ハイゴケ科)
Vesicularia ferriei

匍匐しながらしたれながら生長する。それにともない、茎の先端に向かって密に葉をつけるので、ヘビ一样的な雰囲気がある。流木との相性がいいので、鬱蒼とした森林レイアウトにいかがだらう。



● フレイムモス (ハイゴケ科)
Taxiphyllum sp. 'Flame Moss'

その名の通り、炎が立ち上るように茎葉体を展開する。流木に活着している姿は、レイアウト意欲を燃きつけられる魅力がある。活着するまでに時間がかかるので、テララインで巻きつけよう。



● 南米ウイヨーモス (ハイゴケ科)
Vesicularia dubyana

三角形に大きく広がりながら、茎葉体を形成していく。石に巻いても流木に巻いても相性がよく、大きく生長した姿はため息ができるほど魅力的。ただ、それに見合ったCO₂添加量と光量は必要。



● オレゴンリバーモス (カワゴケ科)
Fontinalis sp.

赤く染まった茎と披針形の葉がユニークなモス。大型種として知られる。活着に時間がかかるので、テララインでしっかり固定しよう。



● バブルモス (ヤナギゴケ科)
Amblystegium riparium

別名ストリンジモス。CO₂と照度を整えると、すらりと伸びた茎葉体に無数に気泡をつけ、その美しさはリシアとも甲乙つけ難い。活着力が強く生長も早いのでモスコットンを使用しよう。



● モスsp. マナウス (ヤナギゴケ科)
Hydropogonella gymnostoma

茎は長く伸びよく分岐するので、ボリュームがつきやすく、ふわりと柔らかい印象になる。別名クイーンモスと言われており、葉をよく見ると卵形で非常に可愛いらしい。



● ウォーターフェザー (ホウオウゴケ科)
Fissidens fontanus

シャープな葉が織りなす繊細な姿は、その名の通り鳥の羽のように美しい。薄めに巻きつけることがポイント。生長するとドームのように草体を形成するので、汚泥の吸い出しが欠かせない。



● ウロコゴケ (ウロコゴケ科)
Heteroscyphus argutus

日本でもよく見られ、湧水河川でフジウロコゴケと混じって生えていることがある。生長は同じ科のカメルーンハネゴケと同様、遅いのでテララインで固定する。アクアテラリウムにも向いている。



● プレミアムモス (スジゴケ科)
Riccardia chamedryfolia

アクアリウムではモスとして扱われるがリシアと同じ苔類のグループ。バラバラになりやすいのでテララインで格子状に巻きつける。ゆっくり生長し、横に広がりにくいので小型水槽にもおすすめ。



● ヤワラゼニゴケ (ヤワラゼニゴケ科)
Monosolenium tenerum

別名モスファン。扇状の葉が分岐しながら広がっていく。気泡を付けやすく、スケルトンの葉が光合成している姿はエキゾチックで美しい。透明度が高いので、リシアラインで巻きつける。

「モス図鑑」 Moss Picture Book

一見しただけでは同じように見えるモスですが、実はバリエティ豊かで、間近で観察すると種類ごとにおもしろい特徴がある、奥深い魅力が詰まった陰生水草です。そんなモスの中から14種を、それぞれの活着方法に最適なグッズとあわせて紹介します。

… モスコットンがおすすめ

… テララインがおすすめ

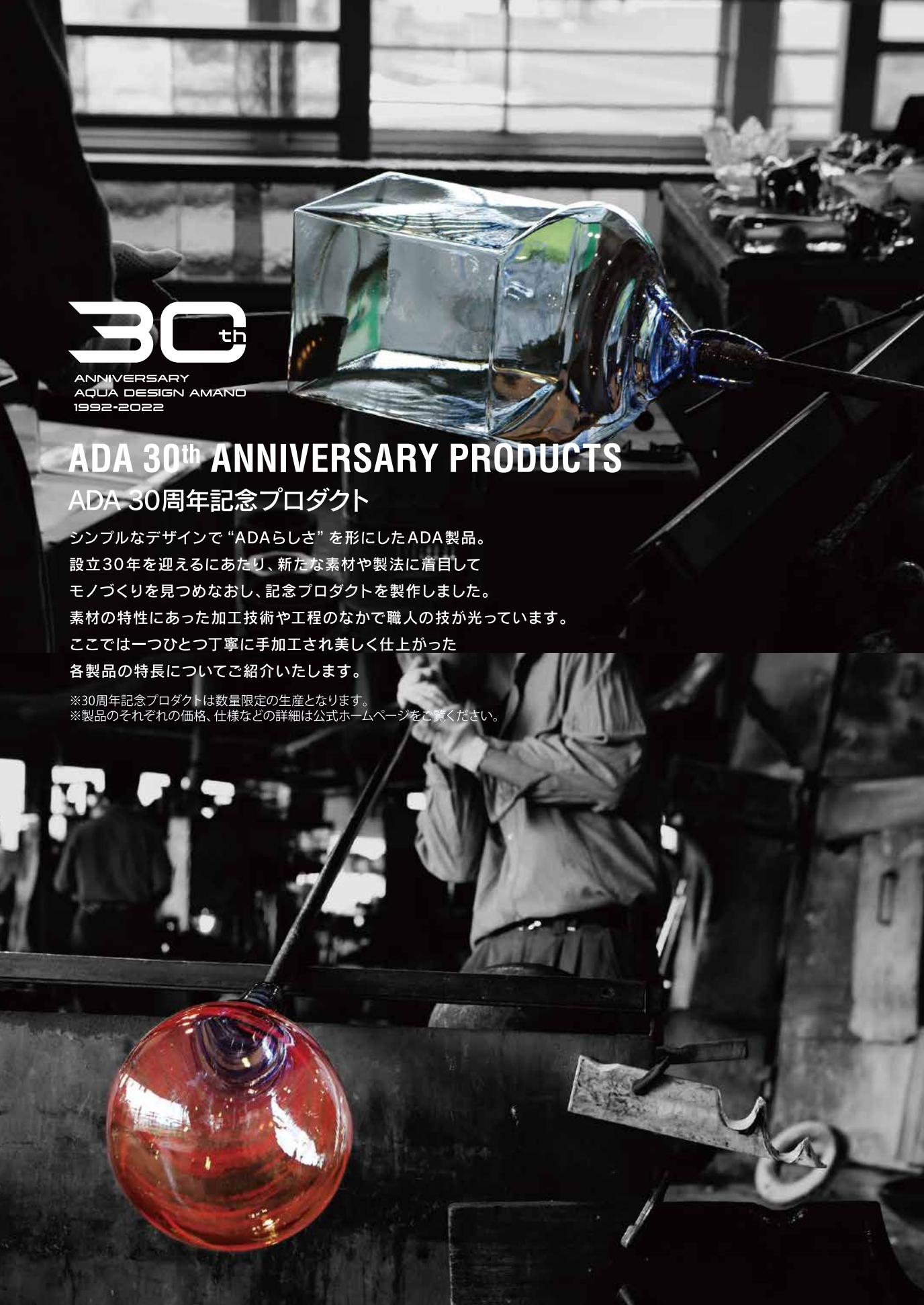
… リシアラインがおすすめ

30
th
ANNIVERSARY
AQUA DESIGN AMANO
1992-2022

ADA 30th ANNIVERSARY PRODUCTS

ADA 30周年記念プロダクト

シンプルなデザインで“ADAらしさ”を形にしたADA製品。
設立30年を迎えるにあたり、新たな素材や製法に着目して
モノづくりを見つめなおし、記念プロダクトを製作しました。
素材の特性にあった加工技術や工程のなかで職人の技が光っています。
ここでは一つひとつ丁寧に手加工され美しく仕上がった
各製品の特長についてご紹介いたします。
※30周年記念プロダクトは数量限定の生産となります。
※製品のそれぞれの価格、仕様などの詳細は公式ホームページをご覧ください。



RETRO GLASS

レトログラス

素材: ソーダガラス
カラー: 天色 (AMA-IRO)、野色 (NO-IRO)
サイズ: W200×D200×H180 (mm)



天色 (AMA-IRO) 野色 (NO-IRO)

天野 尚が収集していたアンティークの金魚鉢から着想を得て、一つひとつ手加工によってつくられた和ガラス容器です。吹きガラスならではのゆらぎのあるガラス面は、ノスタルジックで独特的な雰囲気を醸し出します。また、特殊な着色技法により繊細な流し模様があり、美しさと気品を兼ね備えた一点物となっています。カラーは天色 (ブルー) と野色 (グリーン) の2色。



ソリッドかつシンプルなデザインのトレイにレイアウトツールが収まります。

FC TOOL TRAY EARTH WHITE

FCツールトレイ アースホワイト

素材: フайнコンクリート
サイズ: W335×D95×H22 (mm)

レイアウトツールを置くためのファインコンクリート製のトレイです。プロシザースや同シリーズのショート、ウェーブなどの指穴を収める溝が4つ設けられており、作業を待ち構えるようにそれぞれのツールがスタンバイ。カラーはアースホワイト。

TA ORIGINAL PINSETTES TITANIUM

TAオリジナルピンセット Titanium

素材:チタン合金
サイズ:全長270 (mm)

天野 尚が考案した水草用のピンセットをリデザインし、素材にはチタン合金を採用し軽量化を図りました。そのため本体を手にしたときの一體感がより高く、優れた作業性を生み出します。表面はサテン仕上げ、内側にTITANIUMの刻印。



内側にTITANIUMの刻印。

TA ORIGINAL SCISSORS WAVE TITANIUM

TAオリジナルシザース・ウェーブ Titanium

素材:チタン合金
サイズ:全長200 (mm)

天野 尚オリジナルで自身が最も気に入っていたプロシザース・ウェーブのフォルムをベースとし、初代トリミング専用ハサミの意匠要素を取り入れリデザイン。素材にはチタン合金を採用し軽量化を図り、より優れた作業性を実現します。表面はサテン仕上げ、内側にTITANIUMの刻印。



※写真と実際の製品とは仕様が異なる場合があります。

AP SHAKER TITANIUM

APシェイカー Titanium

素材:純チタン
サイズ:胴部分 Ø25.4×H116 (mm)

ネイチャーアクアリウムの主役となる魚への給餌時間をより充実させる純チタン製のプレミアム給餌器です。シンプルなフォルムながらも1/100mmの精度の切削加工をはじめとした高度な金属加工技術が各所に活かされています。



A:研磨の難易度が高い純チタンを、エッジを残しつつ磨いての仕上がり。
B:精密な旋盤加工により、蓋と本体のスムーズな嵌合を実現。

右:研磨加工は一つひとつ手作業で行い、細心の注意を払いながら丁寧に仕上げます。

※写真と実際の製品とは仕様が異なる場合があります。



MASTER TOOL BOX HAKO

マスターツールボックス HAKO

素材:国産オニグルミ
サイズ:W450×D120×H124 (mm) ※木箱のみのサイズ

職人が使う道具箱をイメージし、国産オニグルミを用いてADA風にアレンジ。大、中、小の3つの箱からなり、レイアウト・メンテナンスツールやモスコット、リリアラインなどのグッズを収納できます。各箱の底面にはADAロゴが刻印され、表面は水濡れに強い特色のガラス塗料でコーティング。箱の四隅は扉の実を施し接合しています。



材料には北東北のオニグルミを使用。木目が美しく、表面の仕上がりも良くなります。



板同士の貼り合わせに強度をもたせるために、あらかじめ切った溝に別の板(扉の実)を打ち込みます。



SOIL SCOOP MAGE

ソイルスクープ MAGE

素材:国産ブナ
サイズ:約Ø42×H150 (mm)

木工職人の曲げ加工技術を生かしてつくられたハンドメイドの土入れです。国産ブナのやさしい木肌が手にしきりと馴染み、使うほどに味が出てきます。ガラス塗料でコーティングされているため、木の質感を残しながらも水や汚れに強い仕上がりとなっています。

DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

DOOA STYLE

小型着生植物の住む 不思議な世界

Text_Kota Iwahori

#17



【テラベースに適したモス】

佗び草マット
クリスマスモス

モコモコとした水上葉が可愛らしい。水上への適応力が高く、はじめてのテラベースにはおススメやすい。

佗び草マット
ビーコックモス

ゴワゴワとした比較的固めの水上葉になる。横に伸びるように生長するため、ボリュームを出したいところに使いたい。

佗び草マット
スパイキーモス

細かな葉先で、他とは異なる繊細な印象を与える。よく水を好むため、テラベースの下方部の活着に適している。

テラベースは小型着生ランをはじめ、樹幹や枝、岩肌などに生育しているシダ植物やクライマー植物などの育成に適しています。適切なサイズのネオグラスエアの中で楽しむスタイルがおすすめですが、今回は一風変わったテラベースの楽しみ方を紹介します。ネオグラスパルダ60に異なるサイズのテラベースをバランス良く配置しレイアウトしてみたところ、森のようなどこか別世界のような、そんな不思議な雰囲気になりました。背面にはテラプレートをかけることができます。

底床はバイオリオG、水苔、生ミズゴケの順に敷いており、底床への水やりはバイオリオGが半分程度浸かる水位を保ちました。このスタイルは小型着生ランのコレクションケースとしてもおすすめで、テラベースごとに属を分けて着させたり、水を与えるタイミングが同じものでテラベースを分けたりすることも可能です。メイン植物の他、モスやジャングルプランツなどもさりげなくつけると雰囲気がぐっとアップするでしょう。

【雰囲気アップ! 脇役プランツ3種】



ジャングルプランツ
ジャワファン

水草としてよく知られているシダ。充実株になるには時間がかかるが、その姿でテラベースにワイルドさをプラスできる。



BIOみすくさの森
アスピアス・ナナ プチ

テラベースでは2、3ヶ所に小さなバッチをつくることで雰囲気アップ。葉の艶を保つには、多めの水やりがポイント。



【佗び草ミストが効果的】

植物の生長の促進アイテムとして佗び草ミストは欠かせない。



DATA : TERRA BASE L

バーボセラ・ハンドロイ
フィマティディウム・ティランジオイデス
レバントス・サルタトリックス
レバントス・カラディクティオン
キシュウェインフィア・シー・ハニアエ
ダバリア sp.
クリスマスモス

DATA : TERRA BASE S

ディネマ・ボリブルボン
フレウロタリス・コスタリセンシス
バルボフィラム・エスティバレー
セラトスティリス・フィリビネンシス
ベペロミア・エマルギネラ
クリスマスモス

DATA : TERRA BASE M

セロジネ・フィンブリアータ
セラトスティリス・フィリビネンシス
アスピアス・コーヒーフォリア
クリスマスモス
ビーコックモス

※照明はパルダライト60を使用。

BIOみすくさの森
ベペロミア・エマルギネラ

モスとともにテラベースに纏わせてると南米雲霧林ながらの雰囲気に。湿度の適応力は高く、乾燥気味だと葉が固く多肉質になる。



ADA NATURE AQUARIUM PRODUCTS STORY

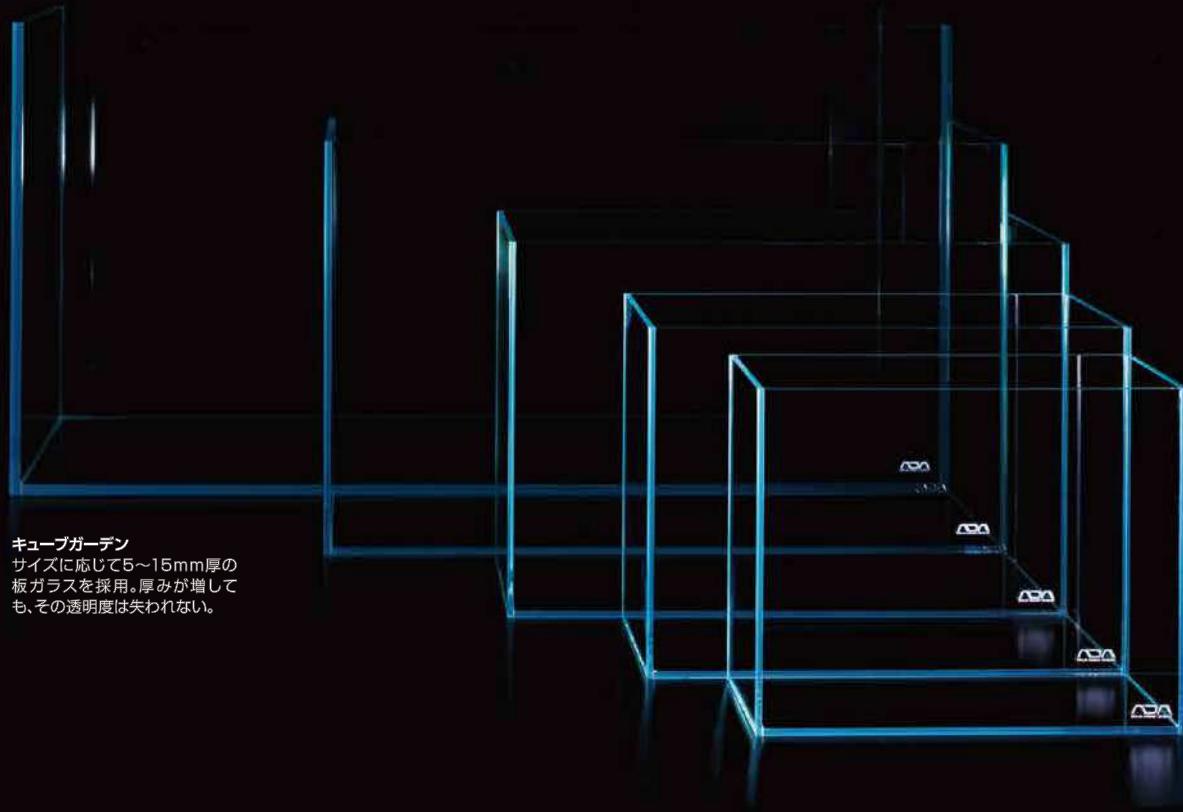
CHAPTER
11

「CUBE GARDEN」

ADA NATURE AQUARIUMではネイチャーアクアリウムをつくるうえで必要なものが製品化されています。

ここでは性能やデザイン性、オリジナリティがつぎ込まれた製品群の魅力について発信していきます。

Text Ryuji Ogawa



キューブガーデン
サイズに応じて5~15mm厚の
板ガラスを採用。厚みが増しても、
その透明度は失われない。

理想を現実とする

この水槽は透明度の高いガラスでつくれられ、観賞性を高めてくれる。さらに接合部においてシリコンの存在ができるだけ感じられないよう接着させている点が大きな特徴といえる。シリコンのはみ出しがほとんどない点は重要で、水槽角への藻類の付着を減らし、美観の保持や擦ることによる劣化も軽減できる。本製品は熟練した水槽職人の手により製造され、接合部のシリコンの強度に関して3年間の品質を保証している。ネイチャーアクア

リウムの理想とする水槽は、ガラスで隔たれた世界と捉えるのではなく水槽を通じて人と魚をつなぐものである。そして単なる飼育箱ではなく、熱帯魚や水草の育成を楽しみ、かつ自然ながらの環境が再現された水景を観賞するための存在に昇華している。ガラスが消失したかのような高い透明度を持つ水槽は、見る人に境界を感じさせず、水景の観賞を妨げない。これを実現し続けるのがADAのキューブガーデンなのだ。

SUMIDA AQUARIUM Report

Text_Takahito Mizuno

Vol.08

当時世界最大のネイチャーアクアリウムとして誕生したすみだ水族館の「自然水景」も制作から間もなく10年が経とうとしています。これまであまり語られることがなかった舞台の裏側を連載でお届けします。



制作から10年を迎えようとしている4m「原生林の構図」と7m「草原と石景」。撮影:水野貴仁(ADA) 撮影日:2022年2月

制作から10年

2012年5月22日のすみだ水族館のオープンに向けて同年3月から制作に取り組んだ「自然水景」は、間もなく誕生から10年を迎えます。ネイチャーアクアリウムは水草レイアウト水槽を長期維持しやすいように考案されたシステムではありますが、天野 尚が制作してきた数ある作品の中でも、10年以上維持されたものはそう多くありません。ADA本社のネイチャーアクアリウム・ギャラリーで制作される水景は、新しい作品を紹介するために数年内にレイアウトのつくり替えが行われることがほとんどだからです。その過程でさまざまな技法が試みられ、新しい表現方法が生まれてきたわけですが、天野はその中でも巨大水槽の長期維持を可能にする表

現方法を追求し続け、ネイチャーアクアリウムの集大成として自然水景をつくり上げたのです。筆者は長年メンテナンスに携わる中で、この水景の随所に天野が込めた意思を感じ、この水景を通して学ぶことが多々あります。自然水景をより深く理解することができたなら、天野が描いたネイチャーアクアリウムの真髄に迫り得るのだと信じて日々の管理に励んでいます。そしてそれは、この先の10年、20年後に訪れる人々の心を動かすことにつながるのではないかと思っています。本連載は今回で終了となりますが、少しでも自然水景に興味を持っていただき、実際にすみだ水族館へ足を運ぶきっかけになれば幸いです。ご愛読ありがとうございました。

※すみだ水族館の開館状況は公式HPなどでご確認ください。

ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

季節ごとのコラムを発信していきます。



第 17 回

文・写真／小川 龍司

赤い色素を個性的に用い、戦略性を持つ繁栄を目指す樹木を紹介しましょう。この写真的個体は芽が複数出でおり通常の姿ではないのでなおさらわかりにくく、この姿からは想像できないかもしれません。アカメガシワという木になります。木本類は葉や花、樹皮、そしてこの冬芽などで名前を知ることができます。細やかなペロア調の質感の冬芽をしており、よくよく観察してみると縮こまつた葉の形がわかります。南方系のため冬芽を守る芽鱗がないことも特徴で、この芽がそのまま大きくなつて展開します。この木は光を好むいわゆる陽樹に分類され、さらに先駆樹種として太陽光を存分に得られる環境で率先するように生長しています。貧栄養環境に強いため、砂丘地や草原、河川敷などでも目に見える機会がよくあります。葉を展開する時期には名の通り赤い芽を持ちますが、これは星状毛と呼ばれる植物の表面を守る構造によるものです。白い毛がよく知られていますが

アカメガシワは真っ赤な毛を生やしているのです。葉が柔らかく弱々しい時期に強光から守るためにするとされ、葉の伸長とともに少しずつ脱落していき緑色の葉となります。ちなみに、この生態特性から赤ワインが持つ抗酸化作用と遜色がないほど葉に有効成分を含むことも知られています。強光や暑さなどのストレスに強い機能を得ているのでしょうか。この写真的林は松枯れが進んだことで植生が大きく変化をしようとしているタイミングです。特にアカマツが失われ林冠が空いたことで林床へ提供される太陽光が増加しています。このような環境では先駆樹種とギヤップ種が競い合って台頭します(先駆樹種とギヤップ種の解説についてはまだどこかで...)。そんな中、なんとも不思議な生長点を持つ1本の幼木との出会いがありました。春の日差しを受け真っ赤な新芽を展開しているアカメガシワを観察しにネイチャーへ出かけてみてはいかがでしょうか。

「Pioneer RED」

INFORMATION

「水草のようにたとえ咲かせる花はささやかでも、自然の一員として命を全うするまで精一杯生きる。ただそれだけで、充分に意味があると信じております。」



山崎美津夫

日本の水草レイアウトの草分けである山崎美津夫氏が、月刊誌『フィッシュマガジン』(緑書房)に掲載した原稿をもとに再編集されたもので、水草を心から愛するすべての方に読んでいただきたい内容です。

四六判 416ページ オールカラー
小売価格 ¥2,970 (本体¥2,700+消費税)

下記にて直接のご注文も可能です。

くお問い合わせへ
メール:yamasakisuisouen@gmail.com
手紙、FAXでもお受けいたします。

〒658-0015 神戸市東灘区本山南町3-10-30-1108 中瀬 佳津子(ヤマサキ水草園) FAX 078-451-2676

*受注後、お客様に振込先を返信し、入金確認後、すみやかに発送いたします。なお送料は実費負担となりますので予めご了承ください。

水草おもしろ話

水槽の中に自然美を作る 山崎美津夫



新潟市の雪梁舎美術館にて、「天野 尚 写真展 未来への記録。」が開催されます。本展覧会では、地元新潟の風景はもとより、日本各地の美しい風景、熱帯雨林地域を含む世界各地の風景を、最大3.6mの大判写真パネルを用いて展示します。天野 尚がその生涯をかけて記録し、未来に残そうとした美しい自然の姿を、臨場感あふれる写真でぜひご体感ください。

主 催 | 公益財団法人雪梁舎美術館
協 賛 | 株式会社コメリ
協 力 | 株式会社アクアデザインアマノ
お問い合わせ | TEL 025-377-1888 FAX 025-377-1881
<https://www.komeri.bit.or.jp/setsuryosha/>

公益財団法人 雪梁舎美術館
SETSURYOSHA Museum of Art



2022.4.2(土)→5.22(日)

9:30~17:00 [入場は閉館の30分前まで]

休館日 月曜 ※ただし5月2日は開館

入館料 500円 ※団体(10名以上)400円、中学生以下無料

STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
©2022 Printed in JAPAN

Publisher

天野 しのぶ NATURE AD DESIGN 丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢

Editor 杉本 俊輔／岩堀 康太／水野 貴仁／柴田 康文／小川 龍司／

亀山 喬史郎／沓澤 亮介

総監修・大岩 剛／写真監修・阿部 正敏

Art Direction

Design

丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢

Published by
株式会社 アクアデザインアマノ
<https://www.adana.co.jp>

Printed by
株式会社山田写真製版所

NEXT AQUA JOURNAL

MAY.2022 vol.319 / 2022年4月10日(日)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。

志高く、夢を追った山崎美津夫の水草人生。
日本の水草レイアウト文化を辿る大著。

ADA NATURE AQUARIUM SOLAR RGB LIMITED EDITION

WHITE BLACK



ADA ソーラーRGB 2色のリミテッドエディションが新登場。

ネイチャーアクアリウムに理想的な光環境を実現する照明システム「ソーラーRGB」に、ホワイトとブラック、2色のリミテッドエディションが新登場。ユーザーから高い評価を得ているソーラーRGBの光色や明るさなどの特長はそのままに、各色とも専用シェードが付属し、ゆっくりと点灯を開始するソフトスタート機能を新たに追加しました。また、電源アダプターもより小型にリニューアルされています。ホワイトとブラックが選べるソーラーRGBリミテッドエディションで、ネイチャーアクアリウムをスタイリッシュに照らしてください。

希望小売価格 各色 ¥81,400 (税込)

【ソーラーRGBリミテッドエディション 製品スペック】

寸法	照明ユニット : W43×D28×H6.4 (cm) ACアダプター : W15×D6×H4 (cm)
重量	照明ユニット : 2.6kg ACアダプター : 0.48kg 専用シェード : 0.25kg (2枚)
入力電圧	AC100~240V 50／60Hz
定格電力	120W ±5%
消費電力	115W ±5%
光束	3,750~4,250lm
照度	約21,000Lx (30cm直下照度)
色温度	約9,000~12,000K (LEDの特性上、色温度には高低のばらつきがあります)
LED個数	130個 (RGB LED)
LED寿命	30,000時間以上 (使用環境によって異なります)
	使用環境温度 0~35°C

ADA
aqua design amano